

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 163-0566
 住 所 東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
 氏 名 野村不動産株式会社
 代表取締役 印
 宮嶋 誠一
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	野村不動産株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市中原区中丸子13-2 野村不動産武蔵小杉ビルN棟		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	テナントビルの賃貸		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		1,812 kl
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	技術管理部エンジニアリング課
		所在地	東京都新宿区西新宿1丁目26番2号
		電話番号	03-3348-8630
		FAX番号	03-3340-5422
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

計画期間及び報告年度	平成26年度 ～ 平成28年度（報告年度 平成28年度分）
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,912 (調) 3,025 t-CO ₂	(実) 4,118 (調) 3,185 t-CO ₂	(実) 3,860 (調) 2,984 t-CO ₂	(実) 3,778 (調) 2,921 t-CO ₂	(実) 3,834 t-CO ₂
削減率		(実) -5.3 (調) -5.3 %	(実) 1.3 (調) 1.4 %	(実) 3.4 (調) 3.4 %	(実) 2.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の 活動量	延床面積		単位		t-CO ₂ /m ²	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値	
排出量 原単位等の値	0.1163	0.1224	0.1147	0.1123	0.1139	
削減率		-5.2 %	1.4 %	3.5 %	2.1 %	

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	テナントの電気使用量が増えたため、温室効果ガス排出量が増加した。
第2年度	テナントで使用する空調やコンセントの電気使用量が減った為、排出量が基準年度比で1.3%削減された。
第3年度	主にテナント内の空調の電気使用量が減ったため、基準年度比で3.5%の削減となりました。目標値に対しても下回ることができました。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	対象事業所は2物件ともCASBEE川崎のランクAを取得している。 2010年3月竣工のため、温室効果ガスの排出量削減については、設備更新ではなく入居テナントとの省エネ推進体制による運用面での省エネを目指す。 ○主要設備等の保安全管理 主要設備等の管理標準の整備を進め、PDCAサイクルによる定期的な見直しを図る。
	第1年度	○主要設備の管理標準を整備し、これに基づいた管理運営を実践している。
	第2年度	○主要設備の管理標準を整備し、これに基づいた管理運営を実践している。
	第3年度	○主要設備の管理標準の見直し、改善を図る。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

市内事業所について、現状では再生可能エネルギーの導入の予定はありません。

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する処置の実施状況

計 画	特にありません。
第1年度	特にありません。
第2年度	特にありません。
第3年度	特にありません。

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	特にありません。
第1年度	特にありません。
第2年度	特にありません。
第3年度	特にありません。

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績 (排出係数反映)

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	2,101	t-CO ₂
(調)	834	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
野村不動産武蔵小杉ビルN棟	中原区中丸子 1 3 - 2	6911	テナントビルの賃貸	1,414 t-CO ₂
野村不動産武蔵小杉ビルS棟	中原区中丸子 1 3 - 3 1	6911	テナントビルの賃貸	687 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k _l 未満	
300~400k _l 未満	
200~300k _l 未満	
100~200k _l 未満	
100k _l 未満	

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--